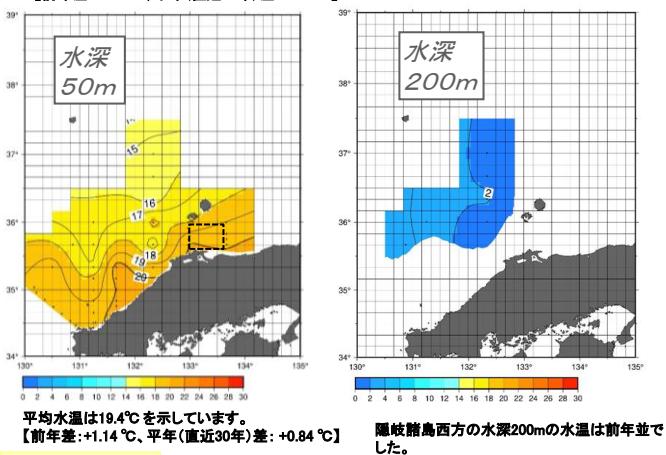
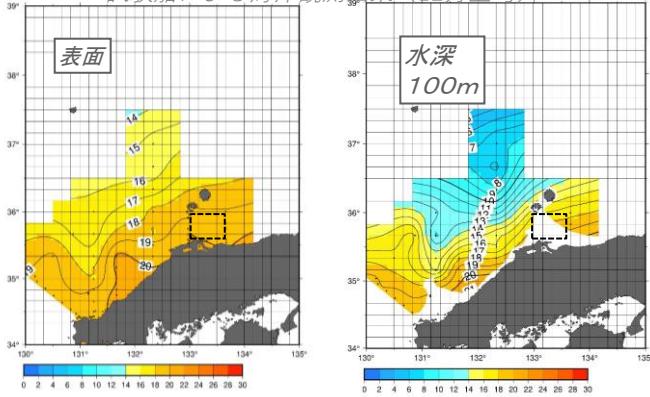


発行 鳥取県水産試験場 (電話: 0859-45-4500)  
試験船による海洋観測結果 (12月上旬)



## 水産試験場

### 令和7年度第1回境港地区漁海況連絡会議

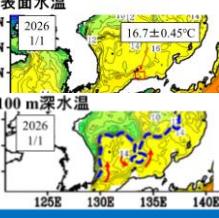


境港地区的水産関係者の方々を対象に、当場の研究員から水温等の海洋環境やアジ・サバ・イワシといった浮魚、ズワイガニを中心とした底魚の漁況や今後の見通しについて報告する連絡会議を12月19日(金)に県営境港水産物地方卸売市場の大修繕室にて行いました。

当日は、33名の方々にご参加頂きました。お忙しいところ、ありがとうございました。各報告内容の概要は以下のとおりです。

#### 1月上旬の海況予報(右図)

・鳥取県沿岸域の表層水温は前年より高めに推移。  
・島根沖冷水は局所的にN38°付近まで接岸。  
・山陰・若狭沖冷水はN37°以北まで離岸。  
・対馬暖流は、島根沖冷水の13°C等温線に沿って流れ、鳥取県東部～兵庫県沖ではN37°以北を東方に向かう流れが生じると考えられる。



#### 各魚種の漁況の見通し・直近の水揚げ状況

魚種	予報期間	コメント
浮魚	12～2月	TAC超過による11月以降の休業で日本海中部等のデータが無い漁況予測でない。
	1月～3月	前年・前年並み(春)の魚類主体の漁況が見難い。一方、私の当魚種を含む中型まとき網のCPUEは近年の中でも低めで資源量は2020年以降、増加傾向。
		前年並みで平年を上回る(上半期、特に)巣魚中心に漁況が好調。また、他地域の今年の漁況は概ね好調に推移し、近年、資源量は回復傾向。
		前年を上回り、前年並み以上回る(上半期)の漁況は低調に推移したが、8～10月の巣魚主体の漁況は前年・前年並み～上回る水準で推移、資源評価において、2024年の加入量は予測した。
		・ブリ:統計、前年並み上回り、平年を下回る(近年、漁獲量は過去最高水準。今季は昨季より南下しやすいため水温分布が予測と見えられる)。 ・ツバツ:前年を上回り、平年を下回る(バス・ヒラゴも10月は漁獲だつたが11月以降は減少。両統計とも2025年には資源量は良好と予測され、成績して一定程度見込み)。 ※ワラ・ハマチは例年水揚げの少ない時期
底魚	11月6日～翌年3月20日	前年、平年を上回り(11月末までの水揚量は前年・平年を上回る状況で小～中型底魚の水揚量が増加)
	11月6日～12月31日	水揚量(底魚)により前年、平年並の水揚量となり、資源は高水準な状況が継続(11月末までの水揚量は前年・平年)
	2月1日～2月20日	水揚量(底魚)の強化、漁期を短縮するため水揚量は前年より減少する。資源状況は前年・平年を上回り増加傾向が見られる
	沖底主要魚種の2025年9～10月の水揚実績	
	ハタハタ	前年・平年を上回った。(前年比:159.5%、平年比:203.9%)
	マダラ	前年・平年を上回った。(前年比:131.1%、平年比:151.2%)
	アカムツ	前年・平年を上回った。(前年比:175.9%、平年比:148.8%)
	ホッコアカエビ	前年を下回り・平年を上回った。(前年比:63.5%、平年比:77%)
	ソウハチ	前年を上回り、平年を下回った。(前年比:136.4%、平年比:51.9%)

令和7年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136

電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

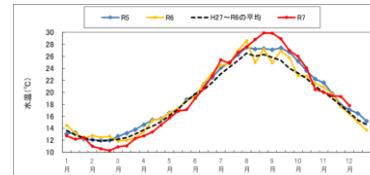
## 鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

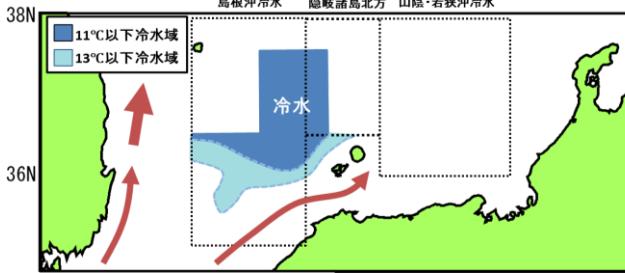
(電話: 0859-34-3321)

12月中旬 16.7 °C

平年より 1.3°C高め



## 12月上旬の水塊配置と対馬暖流



島根沖冷水域	島根県沖のN35°35'以北に冷水域が認められました。
島根諸島北方の冷水域	島根諸島周辺を囲むように冷水域が南下しており、島根諸島北方のN36°以北でも冷水域が認められました。
山陰・若狭沖冷水域	海洋観測欠測のため不明です。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島南東部の沿岸に沿って北に向かい流れると考えられます。主流の一部は、島根諸島北方と、山陰・若狭沖冷水に沿う流れがあると考えられます。

## 境港水産事務所

### 第23回カニ感謝祭 開催決定!!

# カニ感謝祭



#### 日時

令和8年1月18日(日)  
午前10:00～

#### 場所

・水木しげる記念館(太鼓、式典)  
・水木しげるロード(パレード)  
・しおさい会館(カニ汁、カニフレゼント)

(主催: 境港カニ水揚げ日本一PR実行委員会)

#### イベント

・カニ感謝祭式典  
・境港大漁太鼓  
・カニパレード、カニ奉納、鬼太郎音頭  
・カニ汁ふるまい(先着300杯)  
・ベニスイガニプレゼント\*(先着300人)  
※水木しげるロードの店舗で500円以上お買い物をされた方が対象です。

## 栽培漁業センター

### ツルアラメの移植試験

近年、夏場の沿岸海温は上昇傾向にあり、海洋環境に様々な影響が出ていると想えられます。実際、今年の夏場は29°C以上が27日間連続で確認され、アラメを代表する浅場の海藻が減ってしましました。海藻はアワビ、サザエの餌にもなるため、磯根資源を確保する上で海藻を増やす取り組み「藻場造成」が必要となります。



【ツルアラメ】  
・多年生の褐藻類  
・日本沿岸に生息  
・深場にも生息  
・アワビ、サザエの餌として有用

現在、栽培漁業センターでは藻場造成の調査研究を進めており、海水温が上昇しにくい深場でツルアラメの移植試験を行っております。令和6年4月に水深13mに移植したツルアラメは、1年後の令和7年4月に葉が大きく生長していました。また、1年3ヶ月後の令和7年7月には葉から放出された遊走子(次世代の元となる種のようなもの)から新たな幼体が芽生えており、深場でのツルアラメ移植が可能であると分かりました。



栽培漁業センターでは引き続き調査研究を進めていき、将来的には漁業者が取り組める効果の高い藻場造成手法の開発を目指します。

## 潮に夢を

◎共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

TEL: 0859-44-7171 (代表) FAX: 0859-42-6530  
684-0006 鳥取県境港市栄町65番地